（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	すべての新入社員に新人研修を実施している。また必要に応じて研修･講習会などに積極的に参加できるようにしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを禁止する旨を社員に周知している。また、改定した就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	二交代制を導入し、生産性を維持しながら過度な長時間労働を防ぐ等の管理、多様な働き方を許容する勤務体制の対応を行っている。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】当社では外国人労働者の就労実績はないが、今後雇用した場合においては実情にあわせた処遇や環境の整備を検討していく。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生推進者養成講習を修了した安全衛生推進者を安全衛生担当責任者とし溶剤等の管理･使用に関するルールを徹底している。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	経営者が労働者のメンタルヘルスに関する研修を受けている。また社会保険労務士による指導も受けている。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	高齢者雇用に取り組んでいる。また、定年後の雇用延長も積極的に行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	営業･現場それぞれの部署において必要な講習･研修の提供。リーダー育成の為のコンサルタントによる定期的な研修も取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	正規雇用のみの組織ではあるが、職務･職種･貢献度･勤務成績等を評価し、賃金面･賞与面において、同一労働同一賃金の取り組みを行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	定期的な健康診断を年齢に合わせた内容で行っている。流行性感冒の予防接種も全社員に実施し、感染症拡大防止のガイドラインを制定している。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の分別･管理を徹底し、産業廃棄物管理票状況報告書を管轄する市町村に提出している。また廃液の削減装置を導入している。											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	デマンド管理システムを導入し、電力の過剰使用を抑えている。また、空調の温度管理も行っている。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	照明を全てLED化している。また、製品の荷上げ･荷下ろしの際のアイドリングストップを徹底している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質を含む溶剤の使用を禁止している。また、安全データシートを従業員全員に回覧し閲覧できるようにしている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	使用する溶剤をNon-VOC等の人と環境に悪影響を与えないものを選定している。また環境保護印刷推進協議会の準会員である。						6.6									15		

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	削減しきれない古紙は回収業者に、廃材は分別し相応の再生業者に引き渡しリサイクルに取り組んでいる。余材を再利用した製品を製作している。												12.5		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	現像液を用いない現像レスプレートを利用し廃液を削減し、水資源の保全に取り組んでいる。						6.4 6.6											
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	環境マネジメント規格の取得はしていないが、「環境対応印刷」を目標に掲げ、経営から製造まですべての業務において環境対応を目指している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	ホームページにおいて環境に関する取り組みを掲載している。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】再生可能エネルギーの導入を検討している。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	石油由来成分を抑えた耐水用紙、インキなどグリーン購入法に適合した部材の使用を促進している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に規定済みであり、周知している。改定した就業規則にてさらに細部を明記している。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に規定済みであり、周知している。改定した就業規則にてさらに細部を明記している。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	製造上取り扱う知的財産の管理をルール化し、情報保護に関する勉強会を定期的に行っている。自社製品のデザインを意匠登録し保護している。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に関する書類は「個人情報に対する基本方針」を定めて管理を徹底している。																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	製品にドット・フランク法で定められた鉱物は不使用である。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤー、事業パートナーと生態系に悪影響を及ぼすような資材の情報共有、および供給の取り止めや使用禁止に共に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品に使用する素材に使用者に合わせた安全性の高い物の使用を推進している。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	インライン検査装置、オフライン検査装置を導入し、製品精度を高めている。検品に関するルールを制定し作業者に周知・徹底している。									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境対応の部材を使った製品の開発を行っている。						6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	海洋プラスチック問題の解決に向けたプラスチック代替品を利用した印刷に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域からの仕事を積極的に受け、情報媒体の製造業者としての責任を果たす努力をしている。また、地域の学生の職場体験を受け入れている。学校での課外授業実施。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	県内外からの職場体験を受け入れている。また、環境問題に関する活動、障がい者支援施設の活動、SDGsの啓発活動へ協賛している。産学連携による製品開発。				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	自社製品の部材に地元の特産品を利用している。【予定】里山整備による放置竹林の利活用。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営者が経営理念･目標を社員に説明している。経営理念･行動指針はホームページに掲載している。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	事業に関する法令を周知している。また法令に基づき、必要な講習を修了している。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	環境に関する事柄を扱う部署を設けている。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーの意見を汲み上げ、ステークホルダーの満足が得られるような製品づくりを心掛けている。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	過去のトラブル内容や対応を集計し、リスクの低減に努めている。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した製品づくりを通して社会的責任持った対応に取り組んでいる。また、森林保全を目的とした植樹活動を行い、森林資源の持続化に取り組んでいる。																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	サプライヤーを複数設け、非常時の際の部材調達に支障が出ないよう備えている。また、災害時は協力企業と連携し復旧活動を行うようにしている。									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【海洋プラスチック問題】 ・プラスチック代替品の普及を推進している	プラスチック代替品(印刷用シート)への印刷技術を確立し普及の推進を目指している。プラスチック代替の耐水紙に自治体発行の防災冊子や、民間企業の防災マップや手提げ袋を印刷しており、今後も拡大予定である。									9			12		14	15		
【環境対応印刷の推進】 ・石油由来成分の使用を抑えた用紙・インキの利用推進、湿し水ろ過装置による廃液排出量の低減を行っている	環境保護印刷推進協議会GOLD相当の印刷を実現。【予定】湿し水ろ過装置の設置によるGOLD+承認。								8	9			12	13	14	15		
【森林保護】 ・森林保護に重点を置いた印刷の推進を行っている	FSC承認紙や非木材紙を使用した印刷物の提案。古紙パルプを使用し、台紙までリサイクル可能な素材で「SDGs推進企業登録マークステッカー」を製作。非木材紙とSDGsの普及のため、国産竹パルプを100%使用した竹紙にベジタブルインキで印刷した「竹紙ノート」、「竹紙メモ」を製作。									9		11	12			15		
【地産地消】 ・地元産の素材を活かした製品の開発を行っている	地元産の素材を活かした製品の開発。長野県産の素材を製品に使用している。									9		11	12					
【地域貢献】 ・地域の産業や学校と連携し印刷を主軸に新しいモノづくりを行っている	産学連携による新しい視点でのモノづくり、環境対応やより安全性の高い新しい加工方法の模索。学校行事への企業参加などによる地域の学生や保護者との交流。				4				8			11	12					17
【脱炭素社会へ向けた活動】 ・森林保全活動を通して生態系や水源涵養機能を守り、印刷に欠かす事のできない森林資源や水資源を持続可能なものとするための活動を行っている	カラマツの苗木300本を植樹。植樹したカラマツ林の下草払い。追加でカラマツの苗木200本を植樹。定期的な下草払い。											11	12	13	14	15		

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）